



第 1 部

活動報告会

15:00~16:00

2025年度のaktaの各プログラム担当者が、
1年間の取り組みを報告します。





特定非営利活動法人akta

aktaはアジア最大といわれる、ゲイバーや商業施設が連なる新宿2丁目を拠点にCommunity Based Organizationとして活動します。

役職者

理事長	岩橋恒太
理事	木南拓也
理事	金子典代
監事	市川誠一

※2026年6月1日現在

VISION

私たちの活動は、全ての人がHIVとともに生きているという視点から、多様なセクシュアリティと性の健康の認知と理解をはかり、だれもが自分らしく暮らせる街づくりに寄与することを目的とします。

所在地

〒160-0022
東京都新宿区新宿二丁目
15番13号 第二中江ビル
302号室

電話番号

03-6380-0833 (木曜～
日曜 16時～22時)

FAX番号

03-6380-0575

代表者 理事長

岩橋恒太

設立

2012年6月1日

コミュニティの中から

コミュニティに向けて

aktaの考える 日本のHIV/AIDSの課題

UPDATE
HIV



3つのゼロで日本を#UPDATE

【予防】

新規HIV感染**ゼロ**

HIV感染予防に対する啓発の推進と
PrEP・選択枝の拡充

【検査】

AIDS発症を**ゼロ**

HIV検査の実施体制と
選択枝の強化

【治療・人権】

差別・偏見**ゼロ**

U=UとLiving Togetherにより、
コミュニティと社会全体の
スティグマをなくす

新体制発足と、 センター改装のお知らせ

コミュニティセンターaktaは、運営のすべてを自ら担う“完全自律体制”へと歩みを進めます。



新体制発足

厚生労働省のコミュニティセンター事業を、特定非営利活動法人aktaが直接受託。NPO法人の体制・経営の強化。



連携は継続

エイズ予防財団への感謝とともに変わらぬ連携、「MSM All Japan」で全国のCBOとの協働を深化。



センター改装

「新生コミュニティセンターakta」の象徴。

2025年度から準備を重ねてきた、**新たな船出です。**

特定非営利活動法人akta 理事長 岩橋恒太／センター長 木南拓也



AIDS流行終結に向けたロードマップ

2025年、2030年のターゲットに向け、日本国内で高速対応が必要

2023年

- エイズ予防指針の改定
- 郵送検査キットの使用拡充に関する検討

2024年

- 日本エイズ学会 学術集会 大会
長をakta岩橋が担当(11/28-30・新宿)
-  **日本エイズ学会**
The Japanese Society for AIDS Research
- PrEPの薬事承認

2025年

- UNAIDS・WHO 95-95-95ターゲット(診断95%-治療開始95%-検出限界未満95%)の期限
- 予防指針の改正

2030年

- UNAIDS・WHO 世界でのAIDS流行終結の実現



日本が、**世界で初めてのAIDS流行終結を迎える国**となることを目指します

後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針の改正のポイント（案）

【現状・課題】

我が国のエイズ発生動向について、新規H I V感染者・エイズ患者の報告数は平成25年をピークに近年は年間約1,000件前後で推移している。抗H I V療法の進歩により感染者等の生命予後は改善された一方、エイズを発症した状態でHIV感染が判明した者の割合は約3割を占めることが課題の一つであり、HIV感染の早期診断に向けた更なる施策等が必要である。

【対応（指針改正）方針】

HIV流行終息に向けて国連合同エイズ計画（UNAIDS）にて掲げている「**偏見・差別、新規感染者、エイズ関連死をなくす**」ことを念頭に、将来的なケアカスケードにおける95-95-95目標※¹の達成を目指す。特に我が国においては、上記課題の改善に向けて各種施策に取り組む。

改正のポイントと内容

○ HIV・エイズ対策における基本的人権の更なる尊重

（ポイント）

- ・ 感染者等の基本的人権として、**偏見・差別なく適切かつ必要な医療・福祉サービスを受けることを確保する。**

（指針の改正内容）

- ・ 予防指針全体の構成を見直し、これまで第六に位置付けられていた「人権の尊重」を第一に位置付ける。
- ・ 性に対する考え方等の多様性に関する国民の理解が、感染者等の予防行動、検査及び医療へのアクセス改善に寄与するとの認識が重要である旨を記載。
- ・ HIV感染症・エイズに関する最新の正しい知識の習得（U=U※²を含む）が十分でないこと等により、医療従事者や介護従事者等の診療やサービス提供等の拒否等も偏見・差別に当たると認識する必要がある旨記載。

○ 個別施策層のHIV感染症に係る実態把握等の継続・強化

（ポイント）

- ・ 個別施策層（対策の実施において**特別な配慮を必要とする人々**）におけるH I V感染症に係る**実態把握等**を目的とした研究を継続するとともに、**エイズ施策のモニタリング体制を強化する。**

（指針の改正内容）

- ・ UNAIDSが提唱しているエイズ施策の鍵となる人々（キーポピュレーション）をもとに、我が国における個別施策層について記載。
- ・ 医療機関、研究班、NGO等と連携したエイズ施策のモニタリングの重要性を記載。

○ 複合的な対策による予防、検査・相談体制の強化

（ポイント）

- ・ **コンドームの適切な使用、早期診断及び早期治療につながる検査、U = Uの考え方を踏まえた適切な治療等の複合的な対策**により、感染予防及び感染拡大の抑制を図る。加えて、H I V感染症に対する**曝露前予防（PrEP）**※³等の感染予防に有用な手段について、更なる検討を進めることも重要である。

（指針の改正内容）

- ・ U=Uへの理解を深め、一人一人が自己の感染状態を知り、早期に医療機関にかかり適切な治療を継続すれば、新規感染を抑えられる旨を記載。
- ・ PrEPは、適切な使用により性的接触によるHIV感染に対する高い予防効果があるため、HIVの感染予防に有用な手段の一つとして記載。
- ・ 早期診断につながる検査機会の確保のため、保健所等は利便性の高い検査・相談の一つの方法として、外部委託や郵送検査等の活用を検討するよう記載。
- ・ 継続的な検査後の相談及び陽性者支援のための相談の実施について記載。

○ 長期療養を見据えた医療体制の整備

（ポイント）

- ・ **長期的な療養を要する患者の増加を踏まえ、HIV感染症の診療について、より地域に根ざした環境で提供できる体制を構築する。**

（指針の改正内容）

- ・ 地域の医療機関間の機能分担による診療連携の充実を図り、包括的な体制を整えることについて記載。

※¹ 第一に感染者等が検査により感染を自覚し、第二に定期的に治療を受け、第三に他者に感染させない状態にまでウイルス量を低下させるという一連のプロセスでいずれも95%以上を達成するという目標。

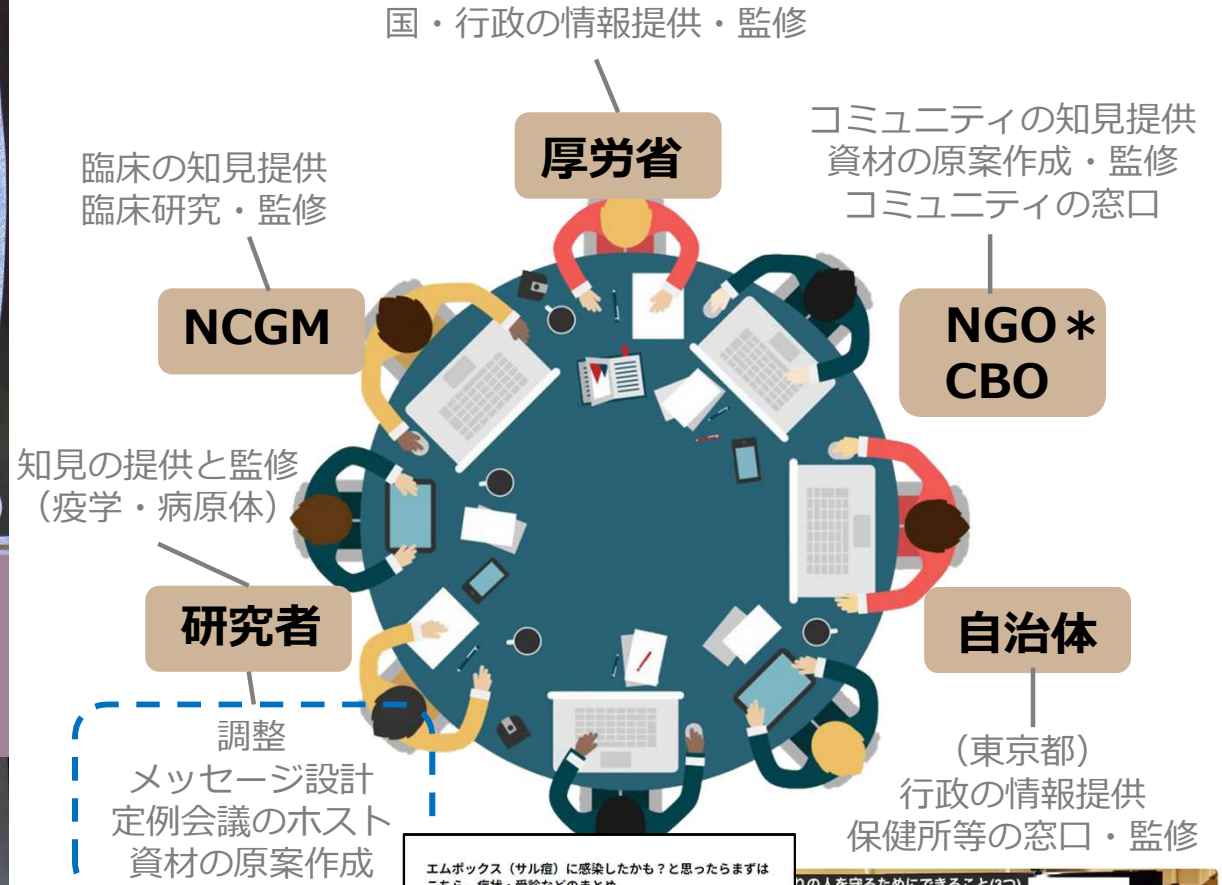
※² Undetectable = Untransmittable。治療によりウイルス量が一定基準未満に抑え続けられていれば、性行為により他者に感染することはない。

※³ H I V感染症に対する曝露前予防。pre-exposure prophylaxis。適切な服用により、性的接触によるHIV感染に対する高い予防効果が海外では報告されている。

『感染症コミュニケーション円卓会議』



2025年11月7日 国際NGO APCOM主催
『HERO Award 2025』において、aktaが
【Community Organization部門】で受賞



第39回日本エイズ学会学術集会・総会
ECC山口メモリアルエイズ研究奨励受賞

Asia-Pacific AIDS & Co-infections Conference 2025 東京開催

(2025年6月12日(木)～14日(土))

チェア 田沼順子・Joseph Tucker
ローカルチェア 村松崇・岩橋恒太
akta木南が英語にて、aktaのアウトリーチ戦略を中心に報告



— 2025年度のポイント —

3つのゼロ（新規感染のゼロ・エイズ発症のゼロ・差別偏見のゼロ）達成に向けて取り組んだプログラム。

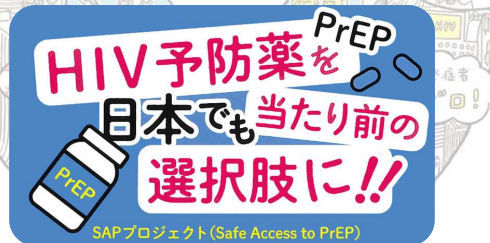


新規感染のゼロ

PrEP環境改善に向けた署名活動の最終追い込み

以下要望の実現に向けた署名プロジェクトの実施！

- ・ PrEPへの安心安全なアクセス
- ・ 誰もが入手できる価格
- ・ 正しい情報と知識の向上



エイズ発症のゼロ

デジタルディスペンサーを用いた郵送検査キットの販売

HIVcheck.jp

ドラッグストアおよび、美術館での郵送検査キット販売の実績と、地域展開への準備。



差別偏見のゼロ

音楽を通して間口を広げたU=Uキャンペーンの実施



U=U × MUSIC!
「大丈夫だよって伝えたい」をテーマに選曲を募集。



MY CHOICE, MY SAFER キャンペーンの実施

予防の選択肢を広く周知する大型キャンペーンの第一弾を実施。



安定的なセンター利用と、アウトリーチ活動に向けた取り組みを行なった。



INDEX

1. community center akta

—HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

2. 相談対応

3. 予防行動促進プログラム

4. Living Together

—HIVのリアリティを伝えるプログラム

5. アウトリーチプログラム

6. ウェブサイトを用いた啓発

7. HIV検査普及プログラム

8. 調査・研究



INDEX

1. community center akta

—HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

2. 相談対応

3. 予防行動促進プログラム

4. Living Together

—HIVのリアリティを伝えるプログラム

5. アウトリーチプログラム

6. ウェブサイトを用いた啓発

7. HIV検査普及プログラム

8. 調査・研究

コミュニティセンターの活動状況

コミュニティセンター akta

運営スタッフ：常勤 3人、非常勤 8人

ボランティア 約140人

開館曜日：木曜、金曜、土曜、日曜

開館時間：15:00 – 21:00

総来場者数：**4,361人**（前年度比：104.16%）

初来場者数：**813人**（前年度比：87.98%）

相談件数：**112件**

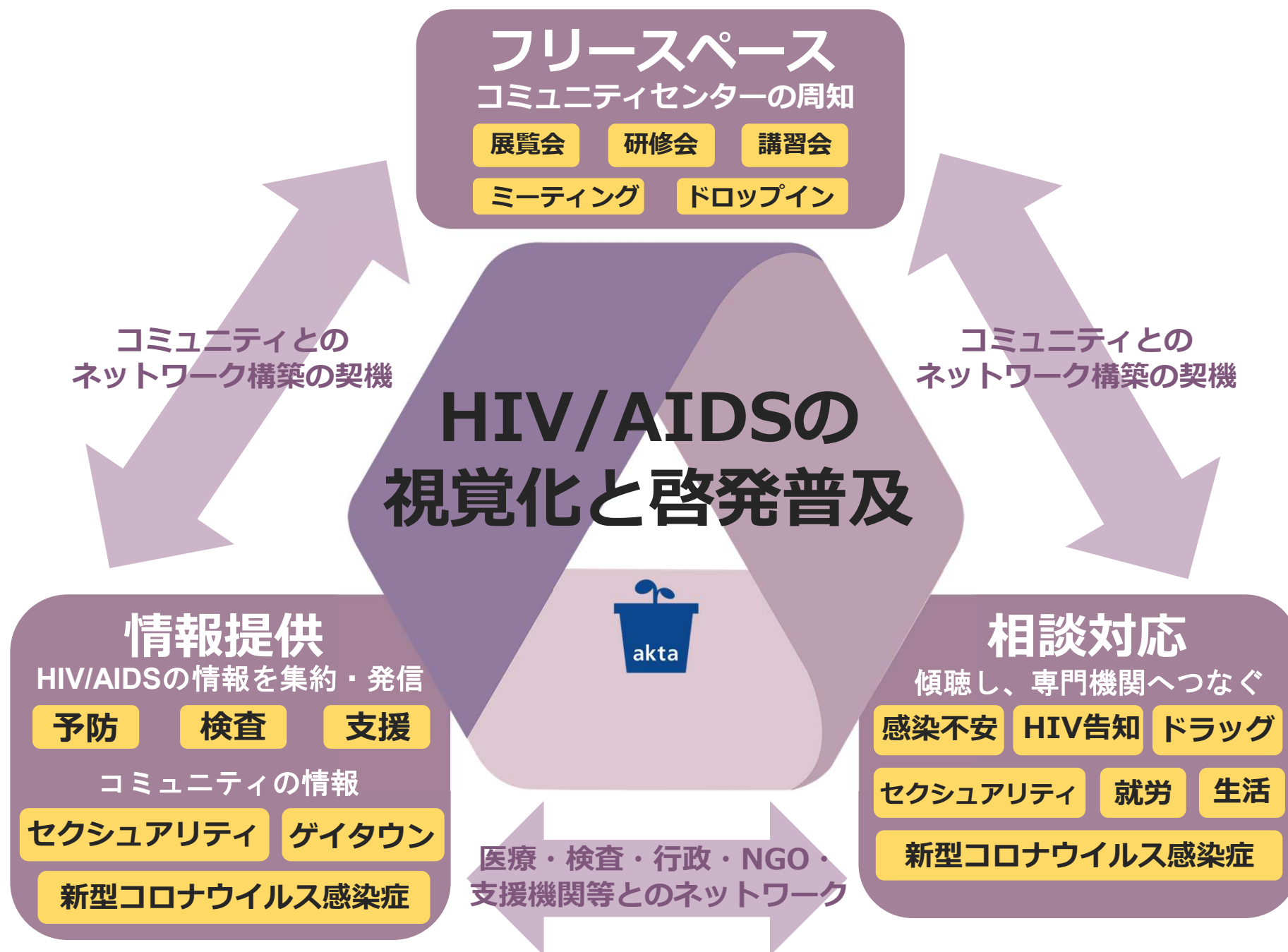
（うち、セクシュアルヘルスに関する相談：31件）



Community Center akta

2025年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来場者数	329	299	290	742	255	297	353	395	341	286	371	403	4361
初来場者	91	73	44	47	37	71	76	88	73	67	83	63	813
相談件数	14	14	9	11	11	10	6	13	3	5	8	8	112

コミュニティセンターの機能





「丈夫源氏物語+美男子展」
4月4日～27日（15日間）
来場者数：159名
対象年齢：全般

「Jonathan個展」
10月2日～30日（17日間）
来場者数：148名
対象年齢：全般



「祭姿の男達 展」
1月8日～31日（15日間）
来場者数：139名
対象年齢：中高年層



「性の健康アンケート
結果紹介23-24展」
7月3日～20日（12日間）
来場者数：93名
対象年齢：若年層



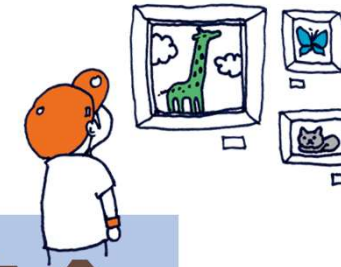
S.オニクボ写真展
「ダイコンと私としろうり4」
11月1日～24日（16日間）
来場者数：186名
対象年齢：中高年層



展覧会

EXHIBITION

新規来場者を増やして、
情報にアクセスする機会を提供する



「セックスワーカーにとっての
セーフターと健康ってどんな？展」
12月4日～27日（15日間）
来場者数：158名
対象年齢：若年層



MY CHOICE, MY SAFER

セーフターセックスの選択は、
ひとつじゃない。
まずは自分の
HIVリスクを把握しよう。

コンドームを使う展覧

「コンドーム」は、最も安全な性行為の手段であるにもかかわらず、日本では、その使用率が低いことが知られています。本展覧会は、コンドームの正しい使い方や、その重要性について、わかりやすく伝えることを目的としています。

HIV検査を受ける展覧

HIV検査を受けることは、HIV感染の有無を確認し、早期治療によって感染を抑制し、健康寿命を延ばすための重要な手段です。本展覧会は、検査を受けることのメリットや、検査方法について、わかりやすく伝えることを目的としています。

U=U展覧

「U=U」は、HIV感染者が適切な治療を受け、ウイルス量が検出限界以下になると、性行為を通じてHIVを感染させるリスクがゼロになることを示しています。本展覧会は、U=Uの科学的根拠や、検査方法について、わかりやすく伝えることを目的としています。

あなた、
この展覧会をします？

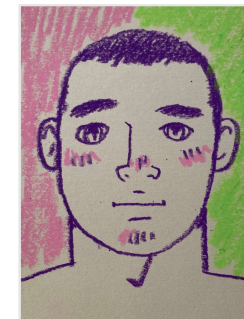
お問い合わせ先
https://nrvp.jp/choice

MY CHOICE, MY SAFER
NIVVIZ

「MY CHOICE, MY SAFER パネル展」
2月1日～22日（13日間）
来場者数：118名
対象年齢：全般



「慎。展」
2月26日～3月8日（8日間）
来場者数：172名
対象年齢：全般



「CRAYON FACES
-3月の象徴-展」
3月12日～3月29日（12日間）
来場者数：108名
対象年齢：全般

Addiction Meeting

定期 「No Rain No Rainbow(ノラノラ)」
薬物の問題に向き合うLGBTQ+の人たちが安心して繋がり、自分らしい生き方を探せるコミュニティ

定期 「AA セクシャルマイノリティミーティング」
アルコール依存症で且つLGBTQ当事者の方限定のダブルクローズドミーティング

Reading Club

定期 「新宿読書会」
ゲイ向けの課題本型読書会。
1冊の本を通して新しい繋がり場を提供。

定期 「アナキズム読書会」
ジェンダー平等についてコーヒーを飲みながらトークする読書会。

「Official Tokyo Lesbian Book Club」
国際レズビアン読書クラブ。

Language

定期 「Eikaiwa Rainbow Tokyo」
講師経験豊富なネイティブの先生による英会話クラス。

Other

「現役占い師とオラクルカードに親しむ会」
不要になったオラクルカードの鑑定や、ミニ講座を楽しむ会。

Old age

定期 「コラルトの認知症サポーター養成講座」
知識はチカラ、理解はタカラ。
楽しみながら認知症について学ぶ講座。



講座/MTG イベント

COURSE/MEETING/EVENT

Work

定期 「アーカイブを作ろう！セックスミュージアム」
1970年代の雑誌を中心に性の書籍をリストアップし目録を作成する。

定期 「大人のもくもくお絵描き会」
孤独になりがちな創作活動を、同じ趣味の者同士が集まって作業する場を提供。

「レインボーコラージュ」
雑誌やパンフ、写真やイラストを切り抜いて、自由に自己表現する場。

Exchange place

「サマブラ交流場」
新宿二丁目で開催された「SUMMER BLAST 2025」の交流の場。

「にちょまん交流場」
新宿二丁目で開催された「にちょまん！新宿二丁目まんがマーケット2025本祭」の交流の場。

Sexuality

定期 「クィアひるまのいま」
LGBTQ当事者が昼間の時間帯に、のんびりゲームや手芸が楽しめる友達作り交流会。

定期 「バイセクシュアルとスペクトラムの会」
バイセクシュアル、パンセクシュアル、オムニセクシュアル当事者の交流の場。

「FTMゲイバイで話そう」
トランス、FtMコミュニティでも話しやすい男性との恋愛やセックスについて話す会。

「Mix Vocal Festival」
性別やセクシュアリティにとらわれず、誰もが自分らしく歌う音楽イベント。

定期 「性のゆらぎお悩み相談室」
ワークショップを通じて、性の在り方や、自分の性について整理するお手伝いをします。





スタッフ主導イベント

「akta English Café」

2023年～継続

対象年齢：全般



プログラムの目的：

「英語」をキーワードに、英語でコミュニケーションをとりながら、aktaの利用を提案し、community centerへの新規来場者を誘致する。また孤立しやすい滞日外国人の交流のキッカケとする。

イベント当日の雰囲気

2月には拡大版イベントを実施し、これまでの報告も行った。



「akta Game Saturday」

2023年～継続

対象年齢：若年層

プログラムの目的：

「ゲーム」をキーワードに、若年層へaktaの利用を提案し、community centerへの新規来場者を誘致する。他のイベントとのバランスを図る。毎週土曜日に実施。



※ 土曜日で他のイベントが入ってる場合は、そのイベントを優先

「akta U25 Day」

2025年～新規

対象年齢：若年層



プログラムの目的：

「25歳以下」をキーワードに、若年層へaktaの利用を提案し、community centerへの新規来場者を誘致する。またaktaの若手スタッフが対応をすることで、安心して参加できる場を提供する。

大学のジェンダーセンターや、学生イベントなどで広報を行うなど、若年層誘致に向けて趣向を凝らした。



「akta Music Saturday」

2025年～新規

対象年齢：全般

プログラムの目的：

「音楽」をキーワードに、世代を超えたコミュニケーションの場を提供し、community center aktaへの新規来場者を誘致する。またaktaの雰囲気を変え、他のイベントとのバランスを図る。



akta talk show

(東京都委託事業)

プログラムの目的：コミュニティへの情報共有、意見交換、普及啓発および専門家とのネットワーキング
対象なる人や施設：コミュニティの人たち、商業施設のオーナーやスタッフ、aktaボランティアスタッフ
HIVに関連した活動をしている人たち、LGBTQ+

LGBTQ+の健康に関わる最新研究の勉強会

LGBTQ+が抱える健康問題は、性感染症、メンタルヘルス、薬物依存、生活習慣病など相互に一問題は顕在化しにくいいため、当事者を巻き込んだ問題点の整理・共有と解決策の模索を行うべく、様々な専門家によるLGBTQ+の健康に関わる最新研究を学び、意見交換や交流を行う。



- ⑫ 2025年5月22日(木)
「DoxyPEPはハイリスク患者に対して、どれだけ感染を防げるのか(国内外の状況と比較して)」
出演者：遠藤 洵之介 (ベアクリニック)
コメンテーター：谷口 俊文 (千葉大学)
参加者：
オフライン21名／オンライン13名



- ⑬ 2025年8月7日(木)
「性感染症、メンタルヘルス、薬物依存、生活習慣病、就労状況などゲイ・バイセクシュアル男性が抱える健康上・社会的課題について」
出演者：池内 和彦 (東京大学)
コメンテーター：今村 顕史 (都立駒込病院)
参加者：
オフライン20名／オンライン27名



- ⑭ 2025年10月9日(木)
「セクシュアルマイノリティとアディクション- 「孤独の病」を生み出すものは-」
出演者：風間 暁 (認定NPO法人ASK)
コメンテーター：村松 崇 (東京医科大学)
参加者：
オフライン25名／オンライン35名



- ⑮ 2025年12月18日(木)
「知る・話す・考えるPrEP：国際調査「PrEP APPEAL」が示すHIV予防のこれから」
出演者：田沼 順子 (国際医療福祉大学)
コメンテーター：Chunyan Li (西安交通大学)
参加者：
オフライン27名／オンライン20名



INDEX

1. community center akta

—HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

2. 相談対応

3. 予防行動促進プログラム

4. Living Together

—HIVのリアリティを伝えるプログラム

5. アウトリーチプログラム

6. ウェブサイトを用いた啓発

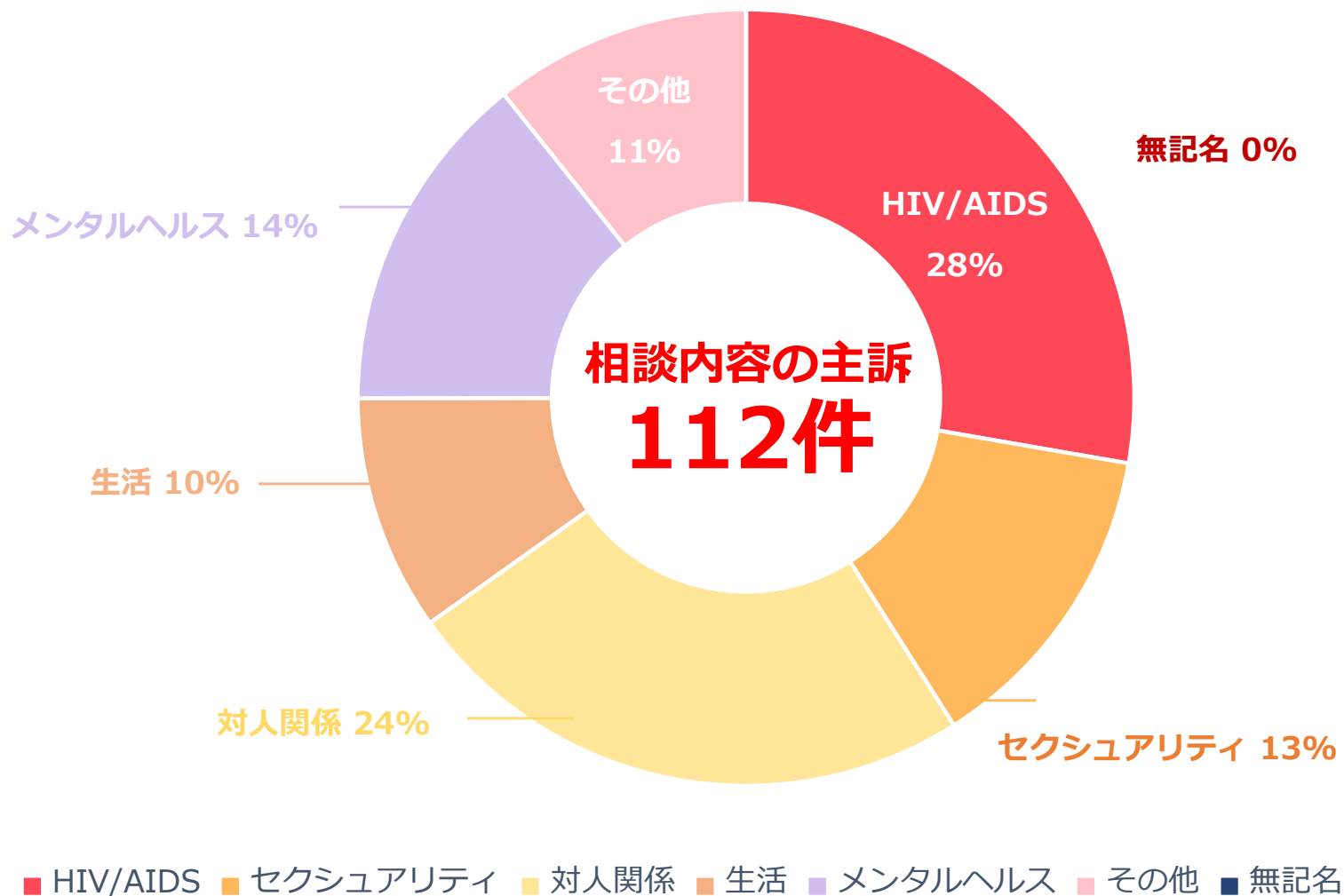
7. HIV検査普及プログラム

8. 調査・研究

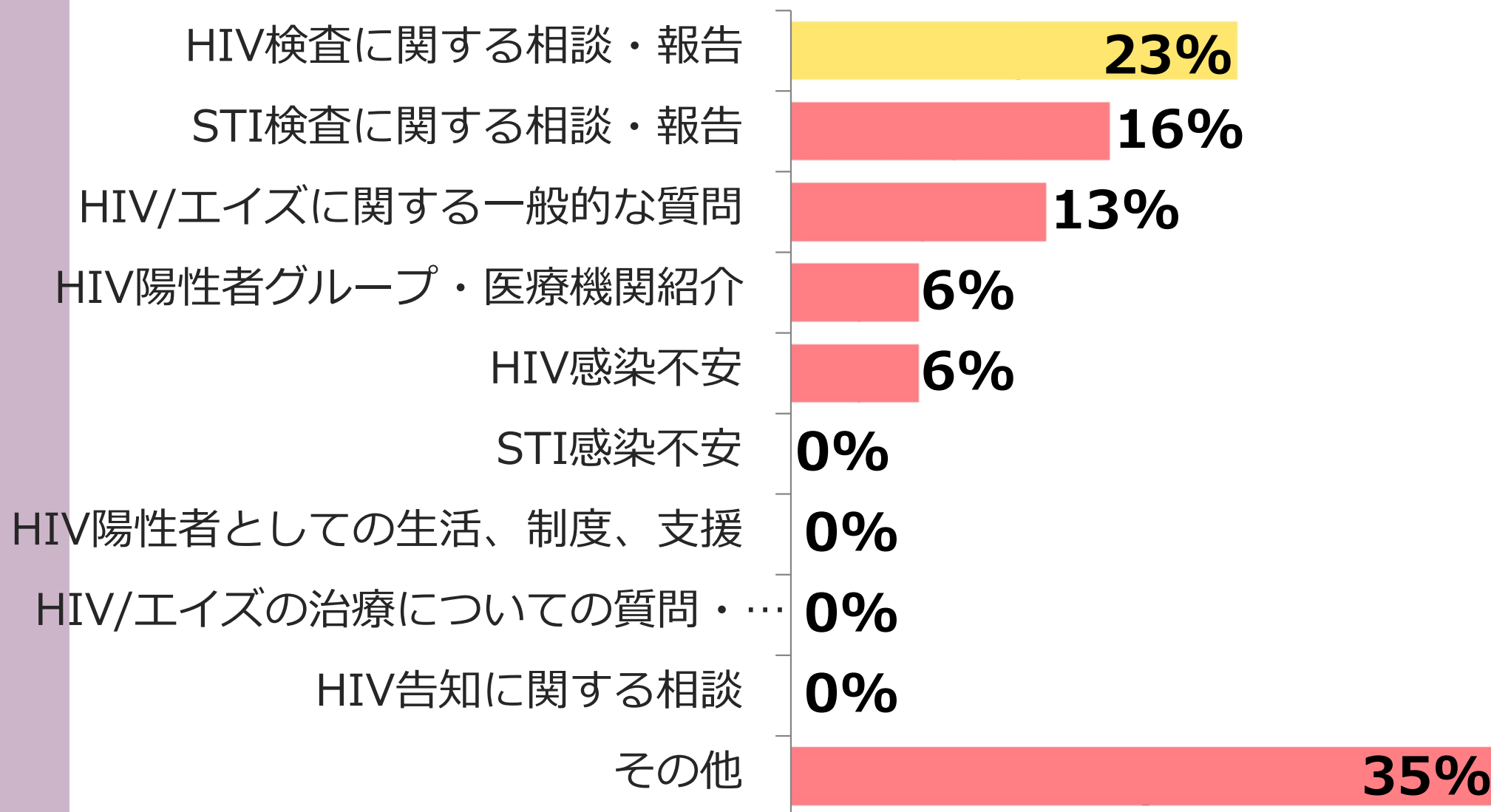
相談対応

— MSMを対象とするエイズ対策拠点の運営 —

セクシュアリティに理解のあるスタッフが
オープンスペースで対応し、支援リソースへつなぐ。

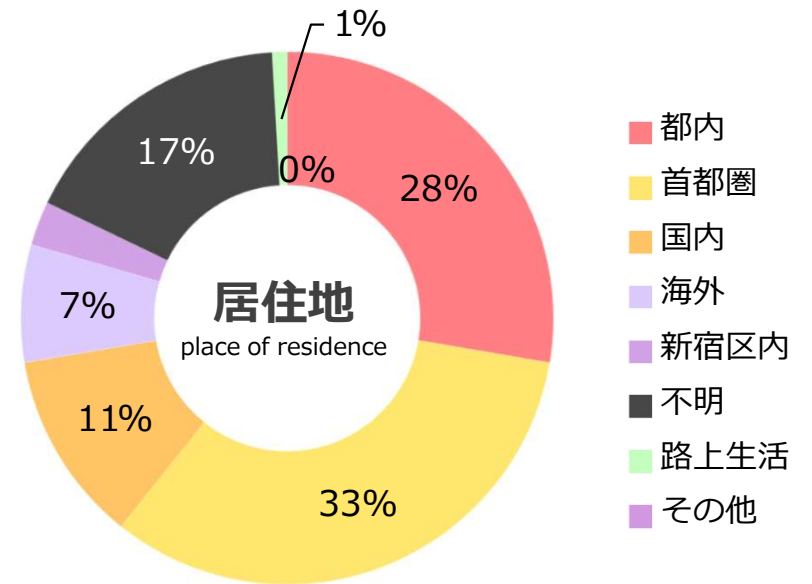
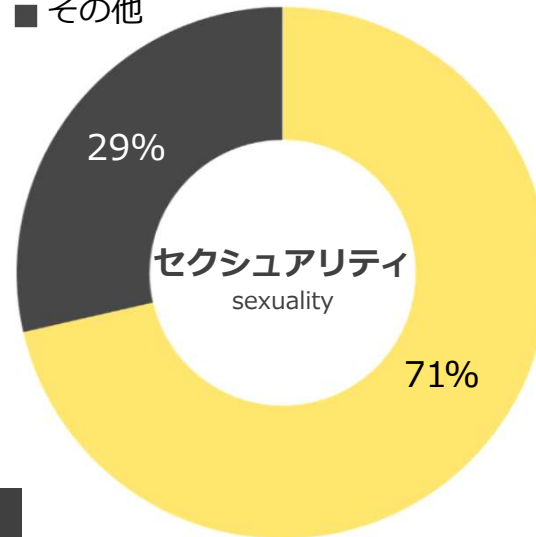


HIV/エイズに関する相談の主訴 (31件)

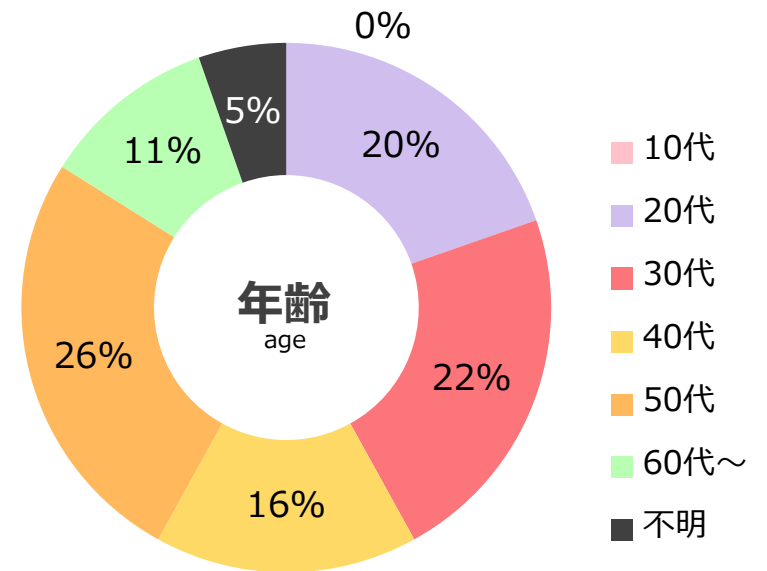
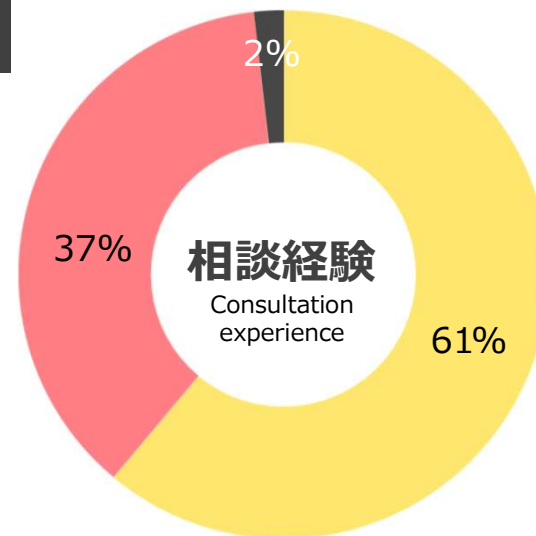


相談者の属性

■ ゲイ・バイセクシュアル/MSM
■ その他



相談件数112件
(陽性割合4.46%)



■ 初 ■ リピーター ■ 不明

スタッフ研修会

Staff Training Session

スタッフ間の情報共有と意見交換を行い、
チームで対応の質の向上を図った。
また、相談対応及び、センター運営における
知識、技術の向上を目的に、専門家を招き、
各分野の基礎的な情報について学び、
今後の対応や運営について検討のキッカケとした。

1

「aktaの概要説明～活動紹介」

実施日：2025年4月27日

講師：木南 拓也（特定非営利活動法人
akta）

実施内容：aktaの活動について学び、解像度
を上げることで、様々な立場の利用者への対
応の参考とした。

2

「HIV患者に推奨されるワクチンについて」

実施日：2025年8月24日

講師：照屋 勝治 氏（国立国際医療研究セン
ター）

実施内容：ワクチンの基本情報からHIV陽性
者に推奨されるワクチンについて学び、実際
の相談現場における情報提供や相談対応の参
考とした。

3

「対人スキル（接遇）について」

実施日：2026年2月22日

講師：星 竜也 氏（ダイバーシティキャリア
センタースタッフ）

実施内容：対人スキルトレーニングの手法に
ついて学び、来場者対応及び、情報提供や相
談対応の参考とした。



INDEX

1. community center akta

—HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

2. 相談対応

3. 予防行動促進プログラム

4. Living Together

—HIVのリアリティを伝えるプログラム

5. アウトリーチプログラム

6. ウェブサイトを用いた啓発

7. HIV検査普及プログラム

8. 調査・研究

HAVE A NICE SEX ファクトシート

目的

情報が錯綜する中で、正しく情報を入手し、自分にあったものを選択することが難しい時代に、ヘルスリテラシー向上を応援するツールとして、日本におけるHIV/AIDSの状況や、HIVだけではない性感染症の情報、HIVの新常識について取り扱う。また、医療機関や検査場等と連携をとり、医療現場での情報周知にも役立つ内容とする。

内容

今知って欲しいこととして、これまで様々なテーマについて取り扱ってきた。2025年度は「2024年のHIV/梅毒動向データ」「V.P.D ワクチンで予防することができる性感染症」をテーマに資材を作成した。またWEBサイト化をし、オンライン上でも閲覧可能とした。



発行部数：5,000部
配布先：新宿二丁目のBAR&クラブ
/168店舗、
その他関係機関への発送
(特に都内クリニック等、医療機関へ
発送)

※検査所や医療機関で配送希望が多数
寄せられた。



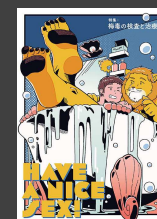
HIV/梅毒
動向データ



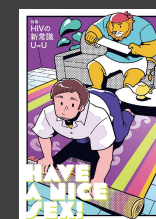
PrEP



B型肝炎



梅毒の検査
と治療



HIVの
定期検査



HIVの新常識
U=U



コンビネーシ
ョン予防



INDEX

1. community center akta

—HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

2. 相談対応

3. 予防行動促進プログラム

4. Living Together

—HIVのリアリティを伝えるプログラム

5. アウトリーチプログラム

6. ウェブサイトを用いた啓発

7. HIV検査普及プログラム

8. 調査・研究

**WE'RE
ALREADY
LIVING
TOGETHER.**

HIVを持っている人も、
そうじゃない人も、
まだ分からない人も。
わたしたちはすでに、
いっしょに生きている。

**WE'RE ALREADY
LIVING TOGETHER.**

Tokyo Pride 2025

2025年6月7日(土)～8日(日)



「#updateHIV」 フロート

NGOが協働して出展。

HIV陽性のメンバーを先頭に250人が一緒に歩きました。

参加団体

akta/ぷれいす東京

協力

ViiVヘルスケア/ギリアド・サイエンシズ
MSDほか



MU=USIC キャンペーン

大丈夫だって、伝えたい！

「U=U」が、適切な治療を続ければ性行為でHIVは感染しないという知識はあるが、実際の性行為時には不安を感じる、というアンケート結果に基づき、正しい情報だけではなく感情的な側面でのメッセージが必要と考え、新宿二丁目の文化の重要な担い手であるイベントとその中心であるDJさんたちに「大丈夫だって伝える」ことをテーマに選曲してもらい感情的なニュアンスにより「U=U」について目を向けてもらい、スティグマの軽減を目指す。

内容

世界エイズデー前後に、新宿二丁目で活躍されているDJさんたちが選曲してもらったテーマに合わせた楽曲を選曲理由と共に特設WEBサイトから紹介する。



「大丈夫だって、伝えたい」プレイリスト

DJさんたちに選曲してもらった曲をもとに作ったプレイリストはこちら。（順次更新中！）



特設サイト



紹介した曲はSpotifyにてプレイリストとして視聴可能。



INDEX

1. community center akta

—HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

2. 相談対応

3. 予防行動促進プログラム

4. Living Together

—HIVのリアリティを伝えるプログラム

5. アウトリーチプログラム

6. ウェブサイトを用いた啓発

7. HIV検査普及プログラム

8. 調査・研究

目的

定期的に情報を届けてaktaの周知と普及啓発を行う



496ヶ所へ届ける、496ヶ所からの情報発信

Adult DELIVERY アダルトデリバリー

プログラムの目的

性行為が活発に行われるスポットにおいて、セーフティーセックスを身近に感じてもらうと共に、HIV/AIDSについて情報をアップデートする機会を提供する。また情報を届けると共に、商業施設とのネットワーキングを構築する。

対象となる人

都内ハッテン場（性風俗店）の顧客と従業員。

実施内容

月に1回、都内ハッテン場（性風俗店）に、性に関する様々なアイデアを配達するアウトリーチ活動。

資材発送

プログラムの目的

直接のアウトリーチができていないゲイバーやハッテン場等の商業施設を含む、全国のMSMを取り巻く関係機関に対し、資材の送付を行う。

実施内容

月に1回、下記関係機関へ資材の発送を行う。
※ 2024年物流問題により配送代行業者を利用。

商業施設 107件 行政機関 16件 医療機関 43件
保健所 53件 教育機関 13件 研究機関 7件
HIV・セクシュアリティ関連CBO 30件
その他（企業・個人等） 59件



デリバリーボーイズ

DELIVERY HEALTH BOY'S

目的

セーフアセックスを身近に感じてもらうと共に、HIV/AIDSについて話す機会を提供する。
また情報を届けると共に、街や店内の雰囲気や反応をキャッチしてくる。

内容

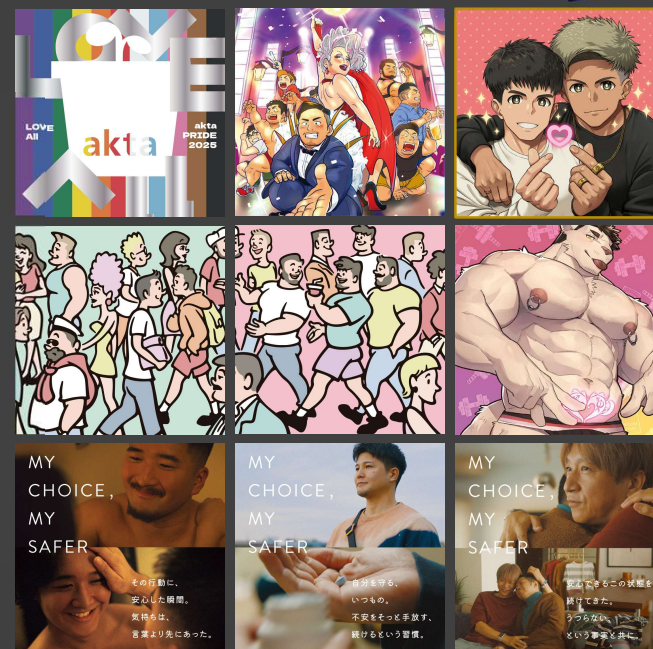
毎週金曜日に、お揃いのユニフォームを着て、新宿二丁目を中心としたゲイバーやクラブに、コンドームや性の健康に関する様々なアイデアを配達するアウトリーチ活動。

結果

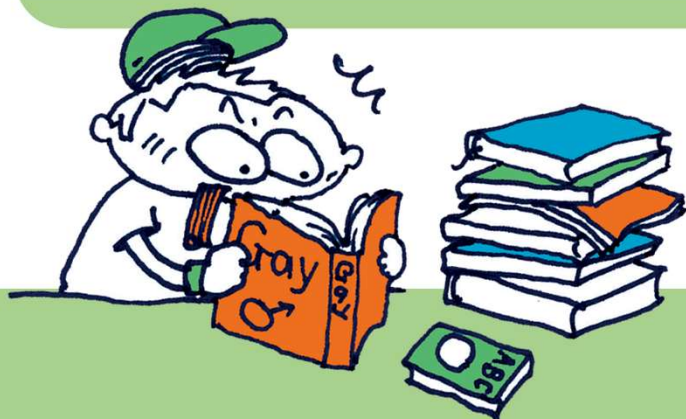
実施日時：毎週金曜日(第三金曜日を除く)の20時～22時
登録者数：140名(内5～10名前後/回のスタッフが参加)
配布店舗数：168店舗
コンドーム配布数：**年間38,560個** 1回約800～1500個
稼働日数：38日



今年度作成した、 コンドームパッケージ



aktaの月間のイベントスケジュールを
カレンダーにしてお届け。
イベントの詳細は裏面で確認ができます。
2025年度は、クール & ビューティを
意識したデザインにしてみました！



カレンダー面



イベント詳細面

akta monthly schedule

community center aktaの周知と、aktaで開催予定の様々なイベントや展覧会を紹介し、aktaへの来場のキッカケづくりや、利用方法の提案として発信するフリーペーパー。



発行部数

2025年4月号～2026年3月号まで
各号5000部 発行、配布

配布先

新宿二丁目のBAR & クラブ/168店舗
その他関係機関への発送

啓発普及の基点（連携のハブ）



275件

ゲイコミュニティとの連携

ゲイバー

クラブ

性風俗店

ショップ

サークル



ニーズ
集約



情報
集約



akta

情報
発信



情報
共有



221件

HIV関連機関との連携

NGO

検査
施設

研究
機関

行政
機関

医療
機関

教育
機関

関連
機関





INDEX

1. community center akta

—HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

2. 相談対応

3. 予防行動促進プログラム

4. Living Together

—HIVのリアリティを伝えるプログラム

5. アウトリーチプログラム

6. ウェブサイトを用いた啓発

7. HIV検査普及プログラム

8. 調査・研究

akta YouTube CHANNEL

ICTを活かした啓発普及を強化して、コミュニティセンターを利用しない層や、コミュニティセンターのない地域に向けて発信する。性行動の活発な特に1980～2000年代出生世代のMSMに情報を届けるためには、オンラインと、対面などリアルな両方のアプローチが求められる。そのため、ネットでの動画を利用した啓発のさらなる強化を試行する。



akta大学

大学形式でトピックについてポイント解説を行い、HIV/エイズ・性感染症についての最新情報を学ぶコーナー。



akta information

aktaが作成した啓発資材やプログラム等について紹介するコーナー。



aktaの時間

日常生活の中で、性に関して思う正解のないあれこれを、あれこれトークするラジオコーナー型の番組

コラボ企画

様々なゲストを招いたり、いつものスタジオを飛び出してロケを行うスペシャルなコーナー。



結果

総視聴回数：59,067回

(同期比：82%)

チャンネル登録者数：2,241人

(前年度より635人増)

MY CHOICE, MY SAFER

セーフアセックスの選択肢は、ひとつじゃない。

これまでの主な予防方法としてコンドーム一択の時代から、現在ではさまざまな予防方法と、その組み合わせを利用できるコンビネーション予防の時代に移り変わってきているため、セーフアセックスの新しい常識として、コンドーム、PrEP、U=Uについて広く周知を行う。最終的にはHIVや性感染症に対する差別・偏見（スティグマ）をなくし、誰もが安心して自分らしくいられる社会を目指す。

内 容

インターネットを中心に、3段階の仕掛けで情報を届けます。入口として新常識のイメージを伝えるショート動画を作成し、関心を持ったユーザーを特設ウェブページに誘導し、より詳しくコンドーム、PrEP、U=Uについての詳細を説明し、さらに具体的なノウハウや専門的な情報リンクへ誘導する。



動画視聴でイメージを捉え、
特設サイトへ移動して詳細について学ぶ。



PrEPは、HIVに感染していない人が抗HIV薬を服用し、HIV感染を予防する方法です。最大のメリットは、感染リスクを相手まかせにせず自分自身でコントロールできること。不安を抱えながらではなく、安心してセックスを楽しむための、自身のための選択です。

日本でゲイバイ男性などに推奨されているPrEPの服薬方法は、①1日1錠を毎日服用するDaily ②リスク行為の前・後1〜2時間前服用するon demand のどちらかです。自分のライフスタイルやセックスの



新宿二丁目ビルボード

特設サイト

akta.jp

WEB上でのaktaの入り口

目的

ゲイ商業施設にアクセスしない層や、ネット利用に止まる若年層をセンターへ集客するため、ホームページを運営して活動の見える化と啓発・周知を行う。

内容

community center aktaと、そのプログラムを紹介するサイト。

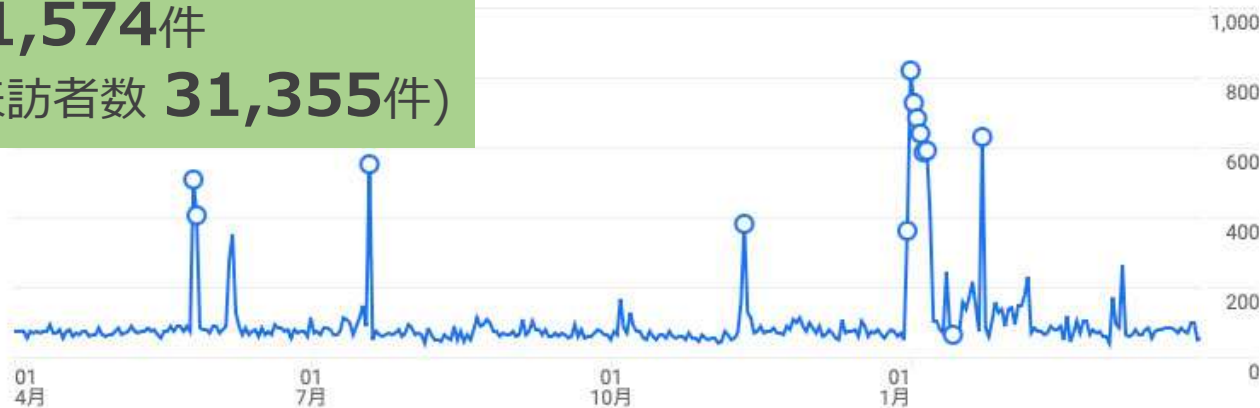
閲覧数は **61,763件** トップページ、梅毒、have a nice sex、コミュニティセンター、NPOの順。

2025.04.01~
2026.03.31

アクティブユーザー ②
3.1万

新規ユーザー数 ②
3.1万

来訪者数 : **31,574件**
(うち、新規来訪者数 **31,355件**)



HIVマップ

すぐに役立つHIVの情報サイト



目的

主にMSMに向けた相談支援として位置づけたサイトを運営。総合情報サイトとして、支援情報、検査情報、基礎知識、統計情報などについて網羅する。

内容

各種コンテンツの情報を最新のものにアップデートし、HIV予防の多様な方法（PrEP、U=Uなど）に合わせた啓発やメッセージ発信を行う。2021年度に始めた、情報をコンパクトにまとめた「POST」は月2回更新。さらに、あんしんHIV検査サーチを改定、自治体との研修会実績を可視化。

HIVお役立ちナビ
予防啓発/検査/治療/支援などを紹介するリソース集

あんしんHIV検査サーチ
首都圏MSM向け検査情報提供

HIV/エイズガイド
HIVの基礎知識について、マンガとテキストで紹介

HIVmap POST
HIVや性感染症などMSMの性の健康護歩をブログ形式で紹介



2024.10.31
【徹底解説】PrEP：ツルパダが薬承認されて、何が変わるのか？



2024.10.19
HIVの即日検査が一時中止？再開？～HIV検査キットの生産遅延による影響について～



2024.09.18
ゲイ・バイ男性にとってのHIV/エイズのいま【後編】～U=UやPrEPの登場、コロナ禍でHIV検査数が激減した影響は？～



2024.09.18
ゲイ・バイ男性にとってのHIV/エイズのいま【前編】～エイズ発生動向（2023年）から日本の現状を読み解く～

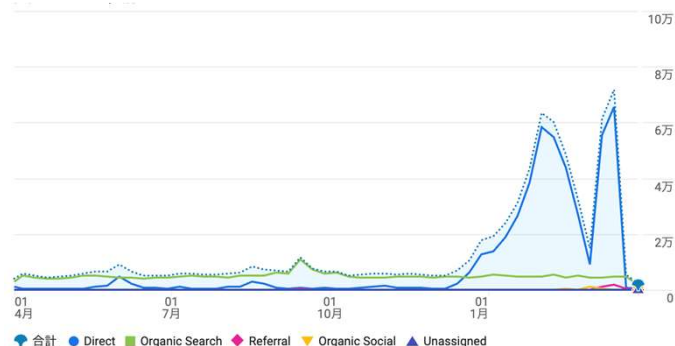


2024.08.27
エムボックス（旧称：サル痘）WHOによる2024年8月の緊急事態宣言、意味するところは？



2024.08.04
TRP "#UpdateHIVフロート"メイキング動画GOGO、ドラッグクイーン、DJ、設営組からの裏話

2025.04.01～ 2026.03.31



総来訪者数：717,934件
(うち、新規来訪者数 694,457件)

ゲイ・バイセクシュアルにやさしい

2024

研修済

あんしんHIV検査サーチ

研修済マーク、はじめました。

☆...☆...☆...☆...☆

ゲイバイ男性にとって
よりよいHIV検査環境にするための研修を、
首都圏の保健所等とコラボで実施。
【研修済マーク】でのご紹介を始めました！

だから、あんしん。
さっそく保健所・
検査所を探してみる

ゲイ・バイセクシュアルにやさしい
**あんしん
HIV検査サーチ**



H.POT

HIV multilingual info Japan

日本に暮らす外国籍のゲイ・バイセクシュアル男性が、自分の言語でHIV/AIDSや性感染症（STIs）の情報にアクセスできるように。

14言語対応：

日本語、英語、中国語（簡体・繁体）、韓国・朝鮮語、タイ語、タガログ語、ベトナム語、ネパール語、スペイン語、ポルトガル語

インドネシア、ミャンマー、モンゴルを追加

提供： HIV総合情報サイト「HIVマップ」

協力： 沢田貴志さん（シェア＝国際保健協力市民の会／港町診療所）、外国人支援団体・個人、海外の研究者・医療者、NOT ALONE CAFEチーム





INDEX

1. community center akta

—HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

2. 相談対応

3. 予防行動促進プログラム

4. Living Together

—HIVのリアリティを伝えるプログラム

5. アウトリーチプログラム

6. ウェブサイトを用いた啓発

7. HIV検査普及プログラム

8. 調査・研究

検査環境の整備と検査行動の促進

保健師（HIV検査担当者）研修会

1都3県の研修をすべて対面で、ふれいす東京等の協力を得ながら実施。
昨年度に引き続き、akta若手スタッフの研修参加を広げた。

東京都

東京都保健医療局
感染症対策部
防疫課エイズ対策担当

2025年10月16日実施
18名参加

神奈川県

神奈川県健康医療局
保健医療部健康危機・
感染対策課

2026年1月19日実施
5名参加

千葉県

千葉県健康福祉部
疾病対策課
感染症対策班

2025年10月6日実施
15名参加

埼玉県

埼玉県保健医療部
感染症対策課・
感染症担当

2026年2月16日実施
18名参加

主な研修内容

講義：各自治体の現状報告／性の多様性／地域での効果的な啓発方法について

ワークショップ①：reading work／保健所の情報交換／課題の確認

ワークショップ②：模擬対応／セクシュアリティに配慮した相談の実際／検査相談に利用できる資材やNPOの活動紹介

MSMへの理解を深め、MSMが安心して検査を受けられる環境整備

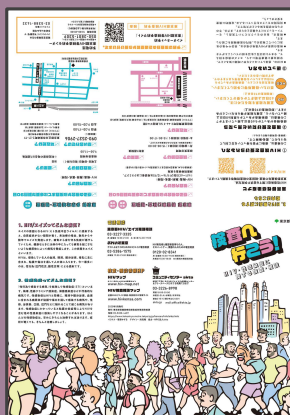
行政機関と連携した検査広報

東京都

各保健所の個別情報→ウェブサイト紹介
都の検査施設のみ紹介、4000部作成・配布



検査施設	検査項目	検査時間	検査料	備考
新宿区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
豊島区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
目黒区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
世田谷区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
中野区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
杉並区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
大田区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
江東区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
葛飾区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
荒川区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
足立区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
江北区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
東区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
中央区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
港区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
目黒区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
世田谷区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
中野区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
杉並区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
大田区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
江東区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
葛飾区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
荒川区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
足立区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
江北区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
東区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
中央区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	
港区保健所	HIV・梅毒・クラミジア・B型肝炎	18:00-19:00	無料	



千葉県

MSM向け休日検査→ウェブバナー広報
受検者へ配布する情報カード&コンドームを
3000部作成・配布

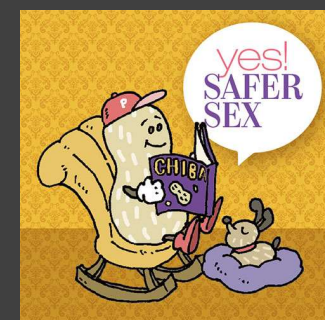
WEBバナー



情報カード



コンドーム



新宿区保健所

ゲイのためのエイズ・性感染症検査

MSM向け検査ポスター



MSM向け検査バナー

コミュニティ主導での

郵送検査キット配布の課題

受療確認

郵送検査のスクリーニング陽性の結果での医療機関側の受け容れが施設ごとに異なる。
また、そもそもスクリーニング陽性となった者のその後の把握が難しい。

制 度

郵送検査キットは医療機器(レベル3)にあたるため、**薬機法の対象となり、管理者として医療資格者(医師・歯科医師・薬剤師)等が必要**。研究枠組みではなく社会実装の場合に、管理者のいない場所での配布できない。

運 営

CBOの活動にとって、現状のモデルでは、ヒト・予算・時間などのリソースが大きくなるため、持続可能性に課題がある。

2025年 HIVcheck.jp 3.0

(ディスペンサーの試行)

内容

薬局の空間の中でディスペンサーを用いて検査キットの配布モデルを試行。行動調査および決済はオンライン上で完了したうえで、身近な薬局・ドラッグストアで受け取り

実施状況

自治体の薬事衛生課の届けが受理。
新宿区の新宿御苑前近くのドラッグストア
および、山梨県の美術館で販売の実証実験を実施。
メディアでの取材を数多く受けた。



HIVcheck.jp
HIV検査をもっと身近に。

LUMさん
ウラルンブル
とき子さん

HIV検査の選び方が変わる。
新宿のドラッグストアから、
ディスペンサーで受け取る、スマートな新ルート。

akta

検査キットの購入は、
※とは新宿御苑前駅すぐのドラッグストアに設置している
ディスペンサーで検査キットを受け取るだけ！

2,500円
ネット決済

受け取り先となる
ドラッグストアや薬局と
印刷の番号を確認

ディスペンサー
受け取り

キャンペーン期間
2月20日(金)
まで

2025年12月16日(火) ~
2026年2月20日(金)

HIVcheck.jp

「HIVcheck.jp」は、特定非営利活動法人aktaが
「ギリアドHIV検査推進寄付プログラム」の助成を受け行う事業



INDEX

1. community center akta

—HIV/AIDSの総合的な情報の集約と発信

2. 相談対応

3. 予防行動促進プログラム

4. Living Together

—HIVのリアリティを伝えるプログラム

5. アウトリーチプログラム

6. ウェブサイトを用いた啓発

7. HIV検査普及プログラム

8. 調査・研究

2025年度 aktaが参画した主な研究

研究分担

- エムボックスに関するハイリスク層への効果的な啓発及び診療・感染管理指針の改訂のための研究(研究代表者 中村ふくみ)
- エイズ予防指針に基づく対策の評価と推進のための研究(研究代表者 四本 美保子)、コミュニティにおけるエイズ予防指針の反映の評価・啓発に関する研究

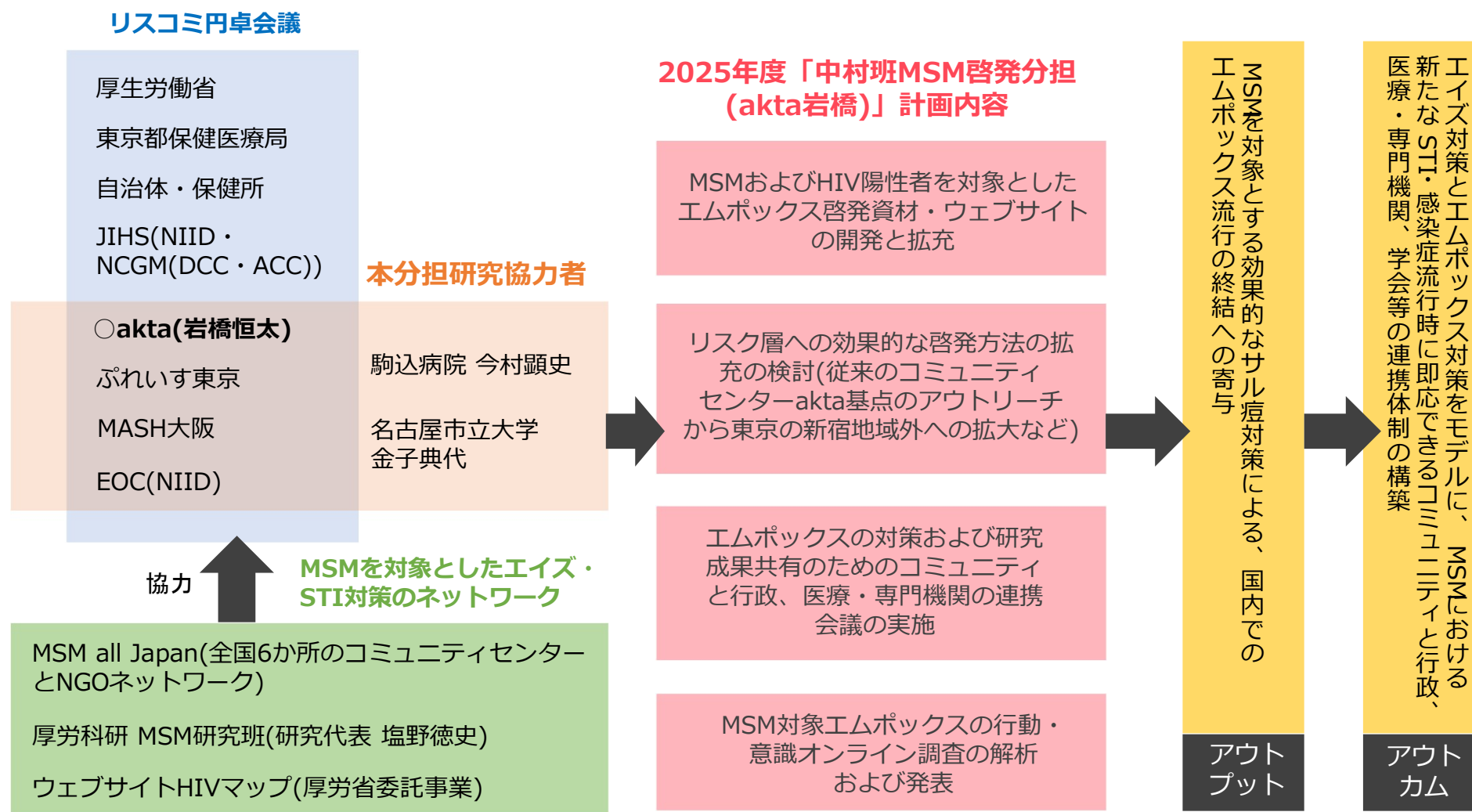
研究協力

- コミュニティセンターを活用したMSMに対するHIV感染症の有効な普及啓発方法に関する研究(研究代表者 塩野 徳史)
- 国際的な基準によるエイズ対策の評価と改善のための研究(研究代表者 田沼 順子)

エムボックスに関するハイリスク層への効果的な啓発及び 診療・感染管理指針の改訂のための研究 「MSMコミュニティに対する普及啓発に関する研究」



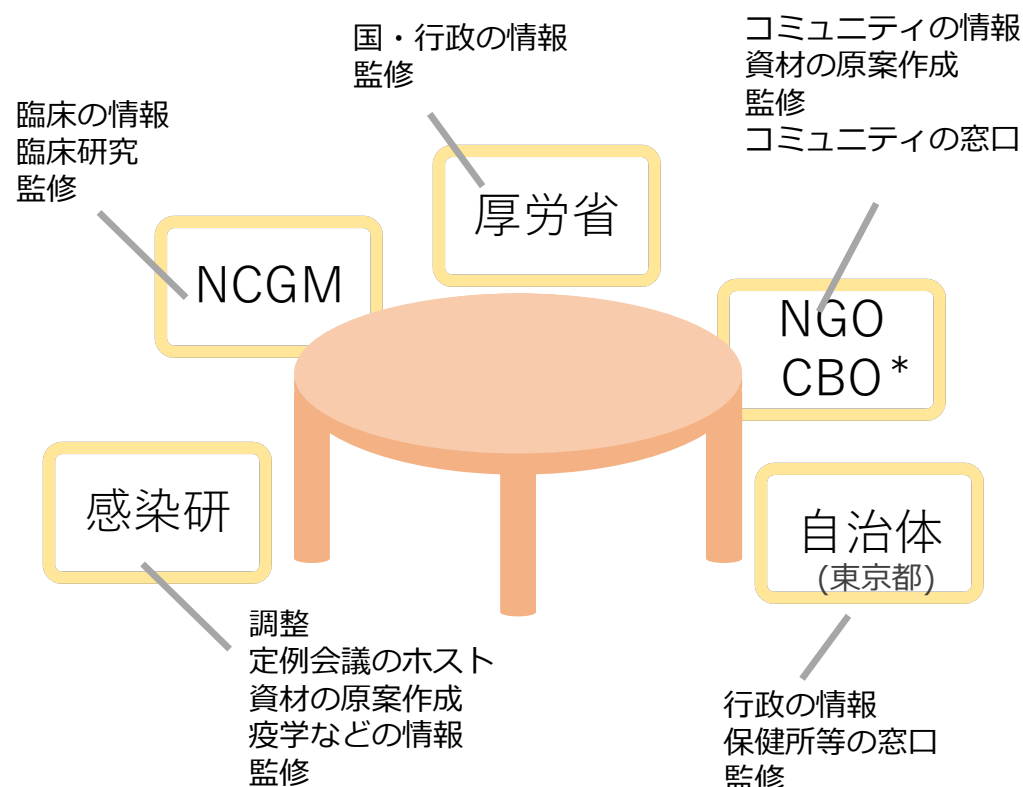
エムボックスに関するMSMコミュニティに対する普及啓発のロジックモデル



『感染症コミュニケーション円卓会議』 の組織



属人的な協力関係ではなく、組織同士が連携する任意団体



主な活動と目的

- ・ 感染症のリスクコミュニケーション（エムボックスに限らない）
- ・ 平時からの意見／情報交換の場の運用

会議の機能 （半月～1か月に1回）

- ・ 情報と意見の共有
- ・ 方針の決定
- ・ それぞれの視点で監修

※ 具体的な調整や作成作業などは、サブグループに分かれて実施

* Community Based Organization
akta、ぷれいす東京、MASH大阪の3団体



2023年7月・2024年7月・2025年7月

新宿二丁目でのクラブイベントに集まるMSM対象

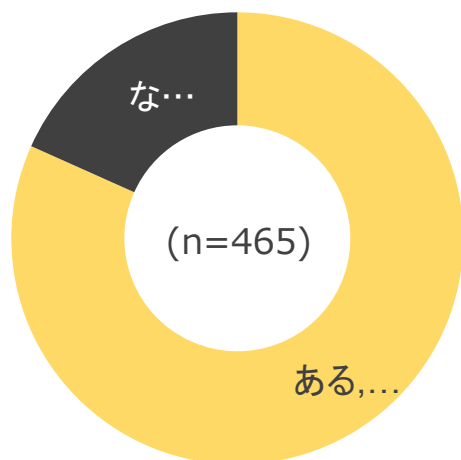
コンビネーション予防 実態把握のための行動科学・定期実施調査

- 2025年7月19日に新宿二丁目で行われたクラブイベントで受付横にて、aktaがブースを出展、17時～23時までのイベント参加者全員にリクルート。
- 参加同意者の自身のスマートフォンで回答してもらったアンケートで、回答時間は約5分間。
- 回答が完了した方には、イベント会場で使用できるチケット(800円分)を謝礼としてお渡しした。
- 2023年よりperiodic調査として、毎年同じ調査方法で実施開始。

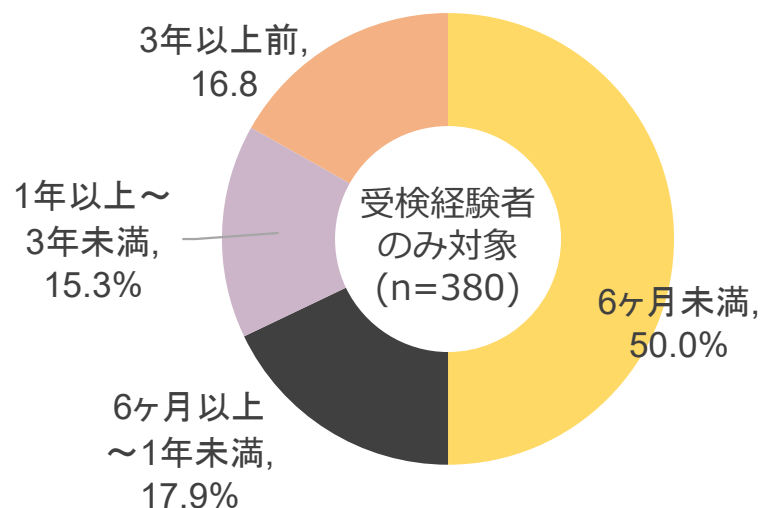
厚生労働省科学研究費補助金「コミュニティセンターを活用したMSMに対するHIV感染症の有効な普及啓発方法に関する研究」の研究の一環として行われ、名古屋市立大学看護学部の倫理審査を得ている。

過去1年間に受検経験ありの者が増え、保健所・新宿東口についてクリニックでの検査が増えている

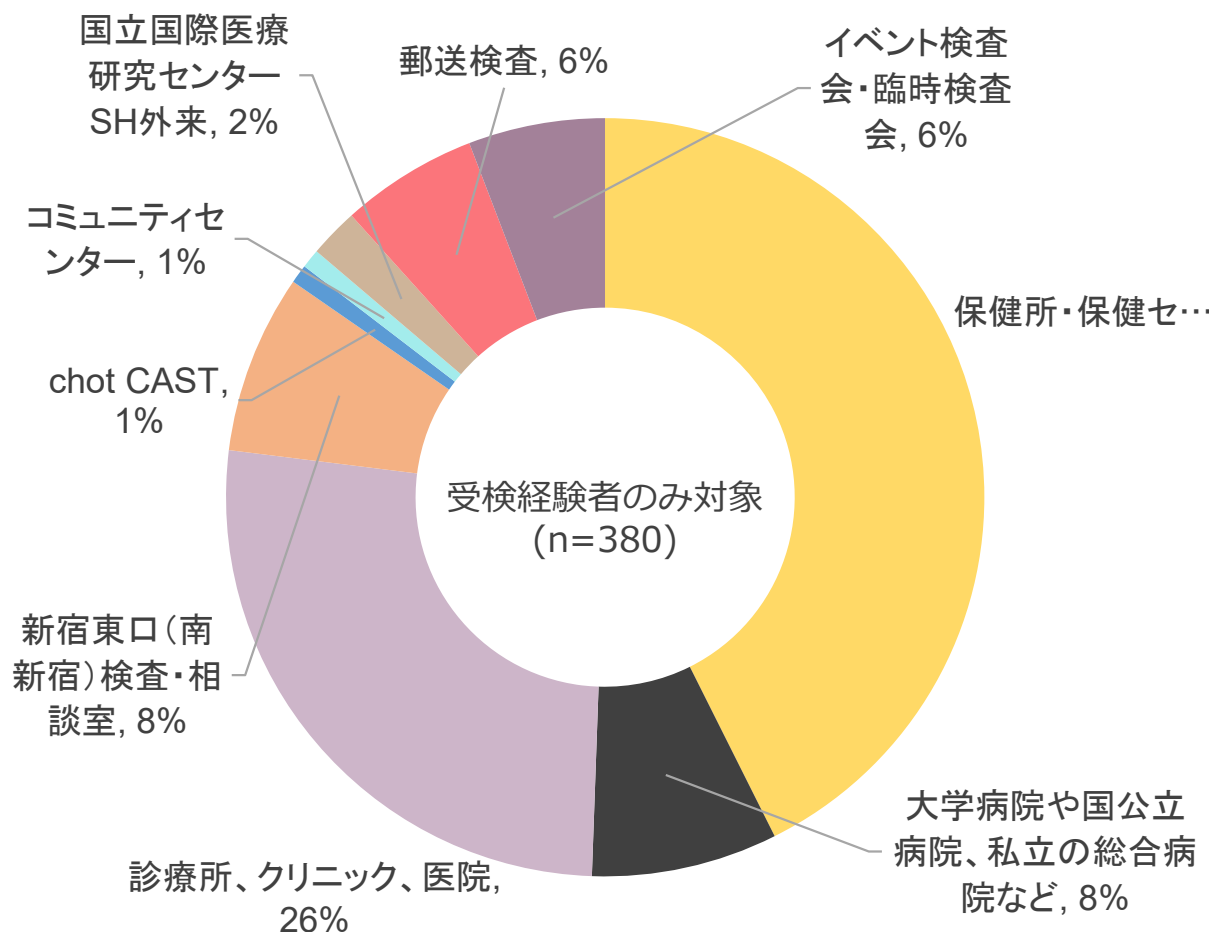
Q24.これまでのHIV検査受検経験



Q25.直近のHIV検査受検時期



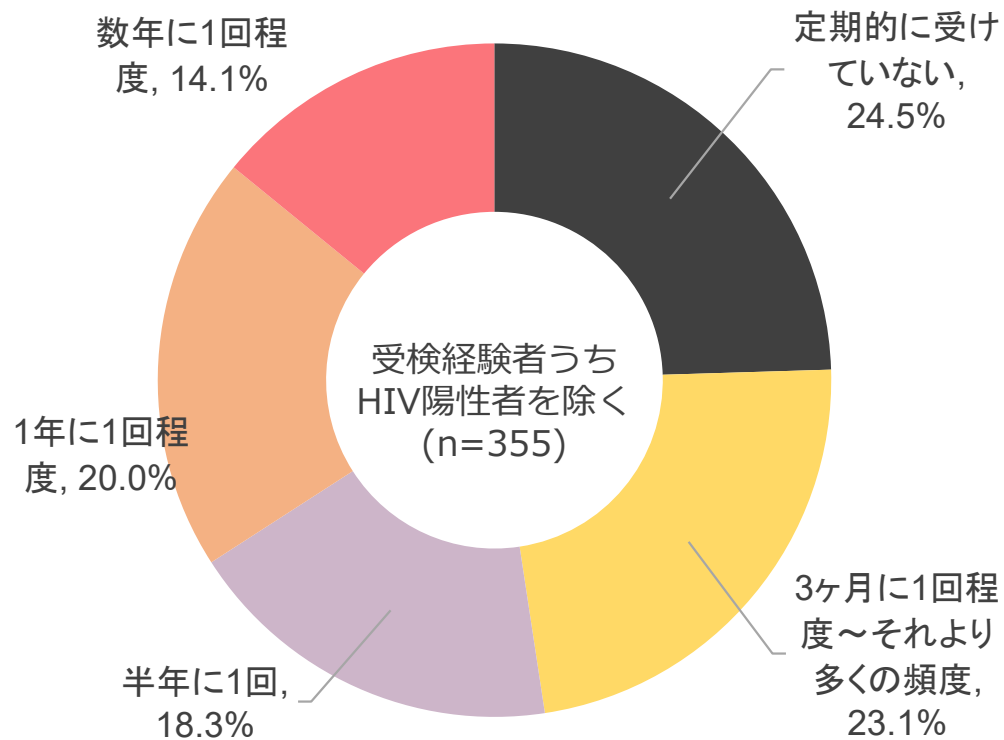
Q26.直近のHIV検査種類・場所



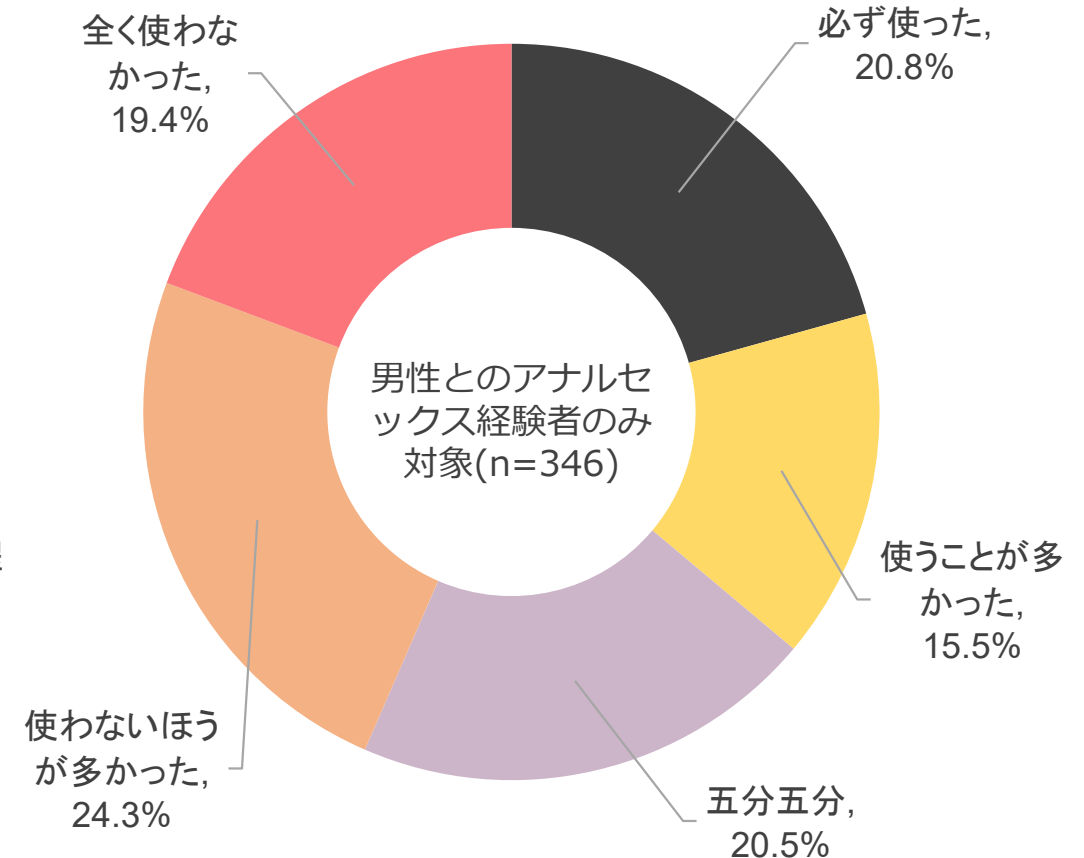
「コミュニティセンターを活用したMSMに対するHIV感染症の有効な普及啓発方法に関する研究」

1年に1回以上定期的に受検するものが61%を占める。
アナルセックス時のコンドーム常用割合は20.8%と減少。

Q28.HIV検査の定期的な受検



Q18.過去6ヶ月間の男性とのアナルセックスでのコンドーム使用状況



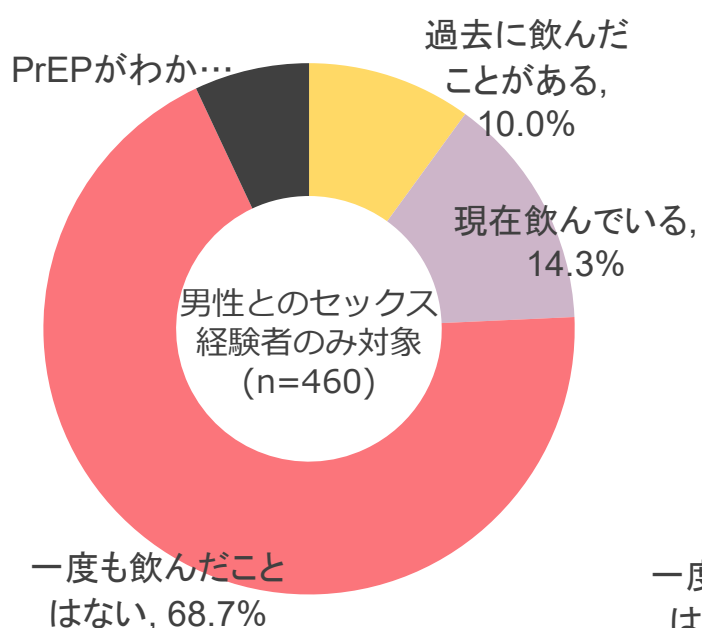
新宿二丁目での定期実施調査では、PrEPを「現在飲んでいる」者はその年々の参加条件等により変動はあるが、増加傾向にある。

2023年7月

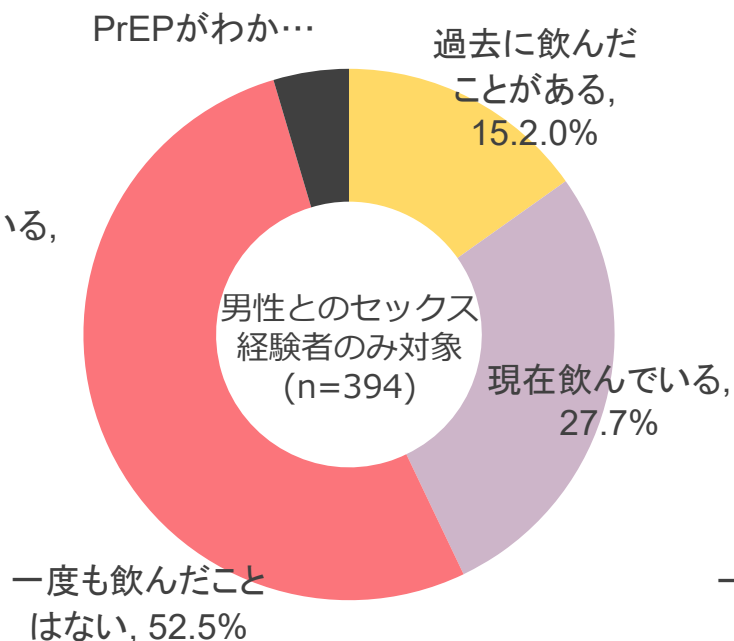
2024年7月

2025年7月

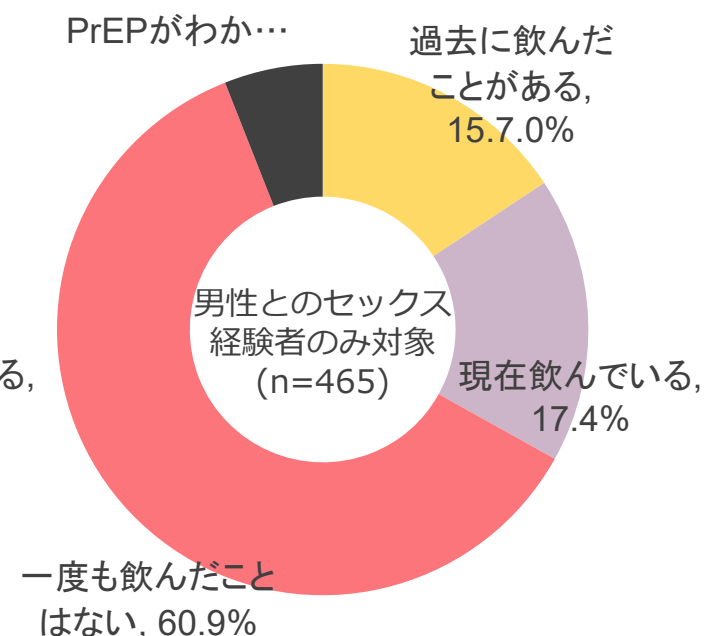
Q.17 PrEP(曝露前予防)の服薬経験



Q.17 PrEP(曝露前予防)の服薬経験



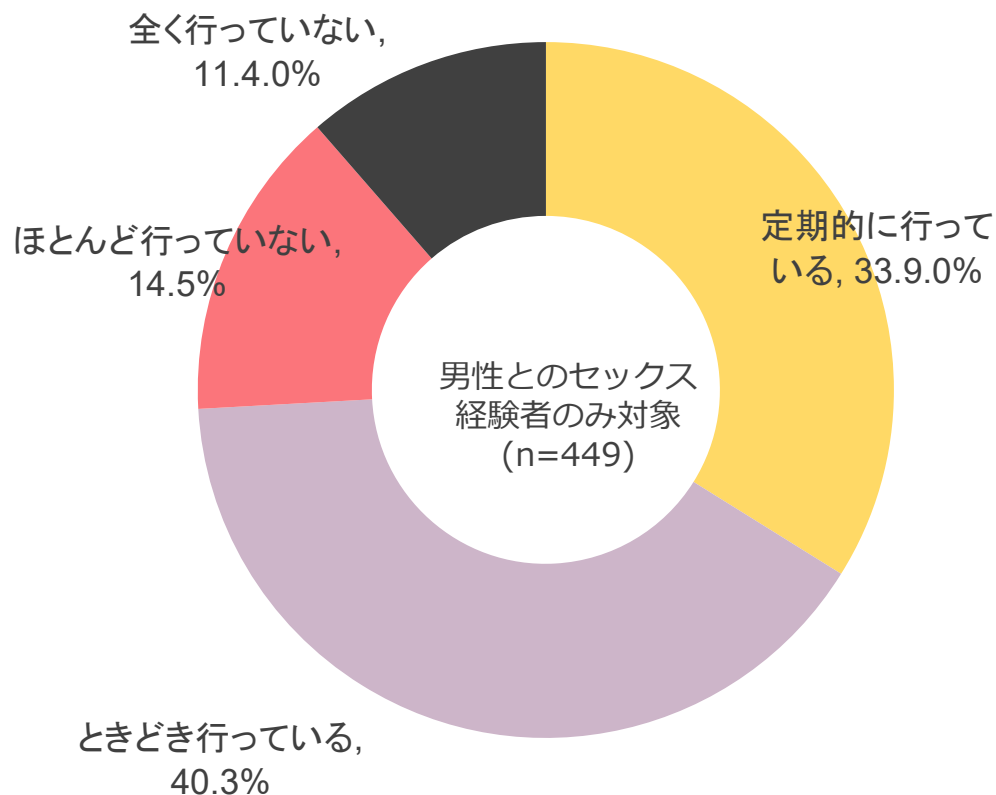
Q.29 PrEP(曝露前予防)の服薬経験



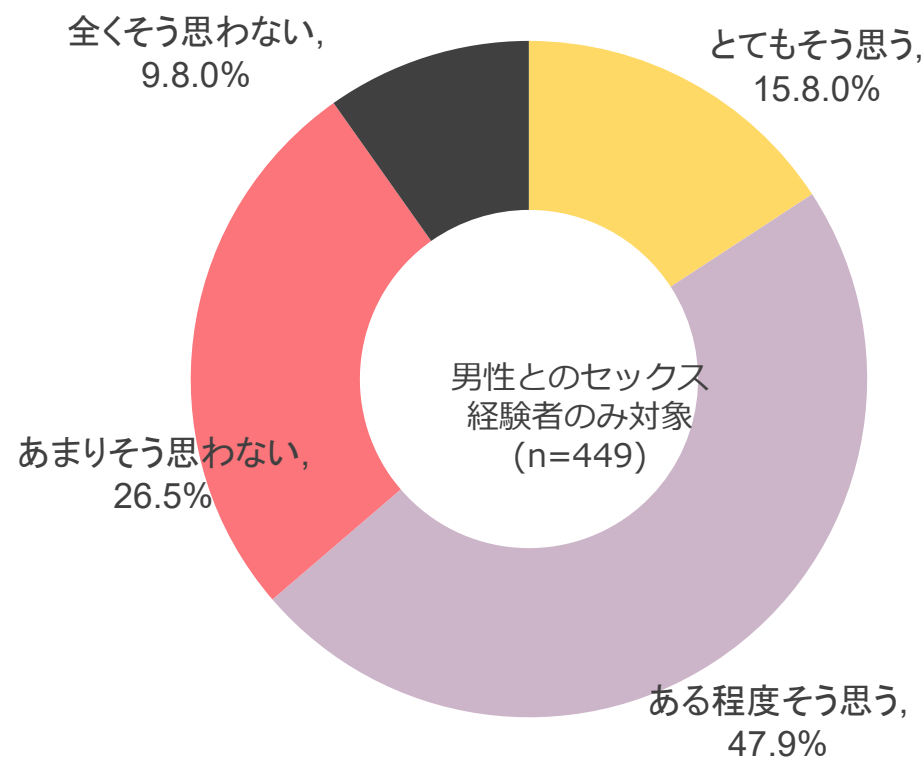
「コミュニティセンターを活用したMSMに対するHIV感染症の有効な普及啓発方法に関する研究」

新宿二丁目での実施調査では、定期的にバニラセックスを行っている者は70%を超えているが、HIVへの感染症のリスクは低いと考える傾向にある。

Q.19 過去6ヶ月間のバニラセックス経験



Q.20 バニラセックスのみの場合はHIVや性感染症のリスクが低いと思うか



「コミュニティセンターを活用したMSMに対するHIV感染症の有効な普及啓発方法に関する研究」

日本のPrEPアドボカシーの現在地

薬事承認から「骨太の方針」— そして“公正なアクセス”へ

2024



先発品ツルバダを承認

PrEPの適応が薬事承認。国内で正式に使える制度基盤が整った。

2025



改正エイズ予防指針

PrEPを「複合予防の有効な方法の一つ」と明記。

2025末～



学会要望書・アドボカシー

日本エイズ学会が厚労省へ要望書を再提出。研究班・製薬メーカーと政治セクターへ働きかけ。

2026.6.30



骨太の方針2026 原案

高市政権「攻めの予防医療」の段に“HIV予防”が明記。

原案より：「予防接種、HIV予防や下水サーベイランス等の感染症対策」

ここはゴールではなく、スタートライン。

「骨太の方針」への記載は大きな前進。だが、地域・経済・ヘルスリテラシーによるPrEPアクセスの格差は依然として残る。“**載る**”から“**必要な人々が実際に使える**”へ — 格差の解消と、流行の終結までを見据える。

成果と影響

PrEPの署名活動を実施

厚生労働省・製薬企業への要望書を提出
メディアを通じた報道の促進
予防薬としての認可は歓迎
しかし「使いやすい選択肢」とは言いが
たい現状を周知



【署名活動実施団体・メンバー】

SAPプロジェクトメンバー：ぷれいす東京 生島 嗣
/ akta 岩橋 恒太 / カラフル@はーと 翁長 祐太
/ ピルコン 染矢 明日香
/ #なんでないのプロジェクト 福田 和子

協力メンバー：プライドグループ 三条銀吾
/ 金沢レインボープライド 松中 権



PrEP
HIV 予防薬を
日本でも 当たり前前の
選択肢に!!
SAPプロジェクト (Safe Access to PrEP)



署名合計

14134 件

紙署名

5,259 件

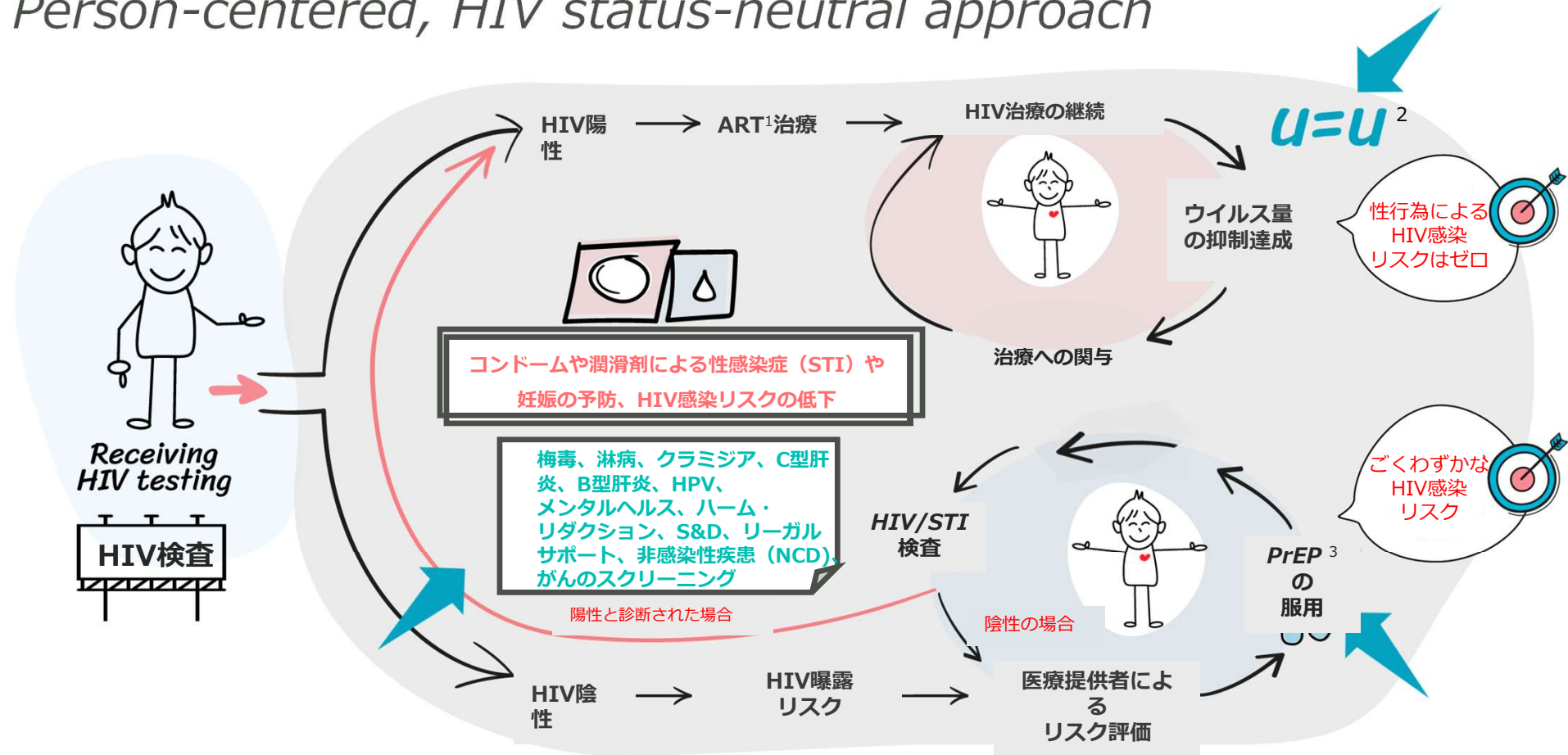
電子署名

8,875 件

ご協力ありがとうございました！

人を中心とした、HIVへの中立的なアプローチ

Person-centered, HIV status-neutral approach



1. ART: Active Antiretroviral Therapy (強力な多剤併用療法)
2. U=U: Undetectable=Untransmittable (効果的な治療を続けていればHIVは感染しない)
3. PrEP: Pre-Exposure Prophylaxis (曝露前予防内服)

IHRIによる「HIV Status Neutral Approach」図解より改変（作成：ギリアド・サイエンシズ株式会社）
Phanuphak N, et al. Curr HIV/AIDS Report 2020. <https://doi.org/10.1007/s11904-020-00516-z>
Adapted from HIV Status Neutral Approach, Institute of HIV Research and Innovation (IHRI), Thailand – www.ihri.org

— 2025年度のまとめ —



3つのゼロ（新規感染のゼロ・エイズ発症のゼロ・差別偏見のゼロ）
達成に向けて取り組んだプログラム。

新規感染のゼロ

PrEP環境改善に向けた
署名活動の最終追い込み

SIGNATURE
14134人達成

HIV予防薬をPrEP
日本でも当たり前の
選択肢に!!

SAPプロジェクト(Safe Access to PrEP)

エイズ発症のゼロ

デジタルディスペンサーを
用いた郵送検査キットの販売

HIVcheck.jp

スギ薬局
キース
ヘリング **美術館**
にてキット販売



差別偏見のゼロ

音楽を通して間口を広げた
U=Uキャンペーンの実施



MY CHOICE, MY SAFER
キャンペーンの実施

VIEW
10485回視聴



1.1倍



1.0倍



第 1 部

特別トークショー

16:30~18:00

アジア最大のLGBTQタウンであり新宿二丁目という街で、そして現実世界の人間関係が希薄になりがちなデジタル社会において、

「安心な居場所」の入り口となるコミュニティセンターはどうあるべきか？各々の形で「場」をプロデュースしてきた多彩なゲスト達と、つながり続けるための未来について深く掘り下げます。



尾田 恵
インテリアデザイナー



つつとん
イラストレーター



コケ丸
エディトリアルデザイナー



海太郎
？

